

(平成25年6月作成)

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	4157	(H.24)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路橋長寿命化)(道路河川室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	道路河川室	中森厚志	

会計区分	事業コード	395502
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	道路橋長寿命化修繕事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 橋梁維持費	道路橋長寿命化修繕事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、緊急に修繕を要する損傷、劣化等が見受けられる橋の架け替えを行い、安心安全な道路空間の整備を図ります。
事業内容
橋梁については高齢化が進行し、損傷の発生が懸念される状況が数多くあるため、調査・点検結果に基づき、国の事業制度を活用して橋梁の架け替えをします。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	
主な事業の実績・計画		東田原3号橋の架け替え 旅費 100千円 工事費 70,112千円 つぎ単 10千円	
			H.26年度(事業計画) H.27年度(事業計画) H.28年度(事業計画)

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費		70,222千円			
内 国・県支出金		38,561			
内 地方債		31,600			
内 その他()					
内 一般財源	(0)	61	0	0	0
人工数		0.50人			
職員					
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 0千円	3,850千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 0千円	74,072千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検(*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
事前の調査設計(地質調査、予備設計)を行っているが、工事実施に伴う県との協議や詳細設計を行っていく必要がある。	橋梁架橋に向け、三重県との協議を進めると共に詳細設計の取りまとめを行い、早期の工事着手を目指します。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	事業採択要件の検討の結果により、補助事業として採択され、財源的に効率的な事業執行が可能となりました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(検討内容を記載→)	工事実施による通行規制が長期となることから、地域コミュニティ役員ならびにコミュニティバス運営審議会との連携を図り事業を進めます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 架橋後50年を経過する橋梁の老朽化が進むことから、修繕計画に基づく予防的(計画的)な整備により、橋梁の長寿命化や費用の縮減に勤めライフサイクルコストの抑制を目指します。	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画 道路橋の長寿命化修繕計画